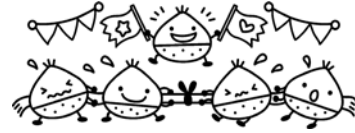




えんだより



2022年10月
吉野幼稚園

主 題：「自立する」

聖書のことば：「自分にしてほしいことは他の人にもそのようにしなさい」（マタイ7：12）

二学期が始まり、すぐにまだまだ暑い中での運動会の練習となりました。最初は、まだ慣れない様子の子どもも見受けられましたが、だんだんと本調子になってきたようでした。コロナ禍の中での本番となりますが、運動会が、晴天に恵まれますようお祈りしたいと思います。

さて今回は、前回の敏感期を見分けるサインの続きです。

敏感期のサイン③喜び

子どもがソファーの上で飛び跳ねたり、塀の上でバランスを取りながら歩いたりすることがあります。その時の表情は、大変うれしそうです。なぜあんなにうれしそうなのでしょう。それは、その子が運動の敏感期にあり、「今、あなたはバランスをとる能力を高めなさい！」という「神様からの宿題」をしているからです。

そして、それがうまくできると、脳の中樞神経に「ドーパミン」が流れ、子どもはえもいわれぬ喜びを感じるのです。そして、その快感から、もっと上手になりたいと同じことを繰り返すのです。

ところで、「期」というものには、始まりと終わりがあります。敏感期も「期」なので、終わりがあります。敏感期を過ぎると、このドーパミンが出なくなります。ですから、私たち大人はソファーの上でピョンピョン飛び跳ねないのです。

要は、ドーパミンが出ることでやっていることが楽しくて楽しくてしょうがない期間に、この先の人生を生き抜いていくために必要な、様々な能力を獲得する必要があるのです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

10月のねらい

- Aグループ・秋の自然や美しさ、面白さに触れ、様々な表現や制作活動を楽しむ。
- Bグループ・秋の収穫体験や身近な秋の自然に触れ、興味や関心を持つ。
- CDグループ・戸外での自然物に触れて楽しむことで、秋の自然に興味や親しみを持つ。
- つぼみ・遊びの中で「かして」など言葉で気持ちを表現し、友だちとの関わりを楽しむ。